学校番号	312

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書道Ⅱ」　（光村図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰの授業で学んだことを発展させて、新たな書体を学び、文字の表情の違いによる表現の違いを学びましょう。
・漢字の書から、漢字仮名交じりの書、仮名の書等を体験し、自分らしい作品を書けるようになることを目指します。
・芸術としての書を、自身の表現として制作し、自分の気持ちや、他の人の気持ちについて話し合い、表現の意味について考えます。
・作品を鑑賞することで、幅広い感性、鑑賞力を身に付けます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現をくふうしたり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書の伝統に基づき、効果的に表現する作品に対して、効果的に表現するための技能を身に付け、表現している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わったり、捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び、鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	漢字の書	・楷書、行書、草書、隷書及び篆書の古典臨書を通じて、表現方法に応じた全体の構成と、漢字の書を構成する様々な要素を理解する。 『泰山刻石』 『甲骨文』 『乙瑛碑』 『曹全碑』 『十七帖』 『集王聖教序』 ・漢字の書の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する(創作)。	a:漢字の書を構成する様々な要素や、各書体の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国などの文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深める。 a:各書体の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:各書体の古典の表現方法に応じた全体の構成について構想し、工夫している。 b:各書体の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 c:主体的に漢字の書の創造的な表現学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

二学期	篆刻	・篆刻を構成する様々な要素、書体・書風や配字等による表現の効果を理解する。 ・篆刻の表現形式に応じた全体の構成、面白みや意図に応じた個性的な表現について構想し、工夫しながら表現する。	a:篆刻を構成する様々な要素、書体・書風や配字による表現の効果を理解している。 a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 a:目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、書体・書風、配字等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c:主体的に篆刻の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に篆刻や刻字の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

	仮名の書	・臨書を通じて、古筆(平仮名・変体仮名・片仮名)の表現形式に応じた全体の構成と、仮名の書を構成する様々な要素を理解する。 『高野切第一種』 『高野切第二種』 『高野切第三種』 『本阿弥切』 『関戸本古今和歌集』 『針切』 『香紙切』 ・古筆の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する(創作)。	a:仮名の書を構成する様々な要素や、仮名の古筆の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 a:仮名の古筆に基づく効果的な表現の技能、墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:仮名の古筆の表現方法に応じた全体の構成について構想し、工夫している。 b:仮名の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わっている。 c:主体的に仮名の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に仮名の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

三学期	漢字仮名交じりの書	・目的や用途、表現方法に応じた全体の構成と漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素を理解する。 ・面白みや意図に応じた、漢字(篆書・隷書・楷書・行書・草書)と仮名(平仮名・片仮名)の調和等による、全体の構成を工夫しながら、表現する(創作)。	a:漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素や、名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:線質、字形、構成等の要素と表現方法や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の特質とその歴史、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 a:目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、面白みや意図に応じた個性的な表現、現代に活きる創造的な表現について構想し、工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさをしっかり味わっている。 c:主体的に漢字仮名交じりそのものの創造的な表現、学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な鑑賞、学習活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度